



55 口腔内から取り出す

口腔内で数分間置いて硬化させた後に取り出します。咬合床の内面から辺縁にかけて均等に薄く咬座印象材がコーティングされた状態が、適正に印象されたことを示しています。



56 側面観

側面から印象の状態を見たものです。



57 反対側

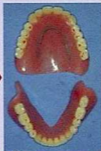
反対側の側面の状態です。



62



63



64

完成した新義歯を口腔内で咬合調整するときの咬合面の状態の変化です。リンガライズドオクルージョンを基本としていますので、上顎側側咬頭の内斜面を削除しながら、しだいに上顎舌側咬頭のみが咬むように仕上げていきます。



68 正面観

新義歯装着時の患者さんの正面観です。揺りのある顔貌になっています。

以上で、筆者が日常でおこなっている総義歯作製の流れを提示しました。以下の章ではこれらの流れの一つひとつについて、改めて詳しく述べていきたいと思っています。